

異文化交流の拠点に 神大、横浜に新国際学生寮



踊り場などに留学生や日本人学生が交流できる「ポット」と呼ばれるスペースが設けられている

神奈川大学は横浜市神奈川区栗田谷に「新国際学生寮」を完成させ、22日に落成式・内覧会を行った。2020年の「国際日本学部」新設、翌年のみなとみらいキャンパス開設など、グローバル教育強化の一環として建設した。「まちのような学生寮」をコンセプトに、留学生と日本人学生の交流が進むよう工夫を凝らしている。

横浜キャンパス近くに位置し、鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り4階建て（延べ床面積6065平方メートル）に209室を配置。階段踊り場などに「ポット」と呼ばれる小さなコミュニケーションスペースやキッチンなどを20カ所設置。留学生

や日本人学生が、国籍や慣習などの垣根を越えてまちなかで集うように、おしゃべりや料理を楽しみながら国際感覚を養えるように配



「まちのような学生寮」をコンセプトに完成した神奈川大の新国際学生寮
横浜市神奈川区

慮した。

同大建築学科などの卒業・修了生を対象にプロポーザルを実施し、工学研究科建築学専攻を10年修了の萬玉直子さんの同コンセプトが選ばれ、プロジェクトに参画した。

牧内良平理事長は「学生たちが、寮生活のなかでイベントや清掃活動といった地域貢献活動を行うなど自主的な企画運営を期待している」とあいさつ。兼子良夫学長は「共生と寛容な心を持った良識ある国際人養成のプラットホームと位置付け、日本人と外国人が共同生活を通して新しいダイバーシティの世界を日常のなかで学んでほしい」と期待していた。

（後藤 政宏）